

【各教科の工夫】

ICTを活用しよう

～複式学級や少人数学級において～



効果的にICTを活用しよう！

複式学級や少人数学級で効果的にICTを活用するには？

複式学級

間接指導中の児童たちだけの学習を充実させる効果的なICT活用は？

たくさんの人の考えや意見を聞くための効果的なICT活用は？

少人数

ICTを活用してよりよい学習を目指そう！



提案

複式学級や少人数学級において、ICTを効果的に活用して、学習を深め、授業を充実させよう！

第3・4学年【国語科】「間接指導時や発表時におけるICTの活用」

活用の場面

①基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。 ②情報を共有しながら発表する。

ICT活用のポイント

①分かりやすく学習の手順を示す。 ②配色や配置をシンプルに分かりやすくする。

事例の概要



先生が3年生に教えている間は、自主学習をするよ。タブレットを使って何度も復習して、たくさん漢字を覚えたよ。



接続語を囲んで意識すると、次にどんな文章が続くのか予想できるね。色分けしているから自分と友達の文章が分かりやすいね。



俳句で使った言葉を電子黒板でみんなで見ることができるので分かりやすいな。遠隔合同授業で、他校の友達の発表や感想も聞くことができうれしかったよ。

活動とICT活用のメリット

漢字やローマ字の学習など、間接指導時にタブレットを活用する。
➤ 一人一人の学習ペースと方法に合わせて、集中して学習に取り組むことができる。

活動とICT活用のメリット

文法の授業で、自作の文章の発表時に、電子黒板で短冊にして表示する。
➤ 聞くだけではなく、視覚的に分かりやすくなる。
➤ 何度も文を読み返すことができるので、全員が内容を共有しやすい。

活動とICT活用のメリット

俳句でキーワードとなる言葉をテキストマイニング(※)で視覚化する。
➤ 常にキーワードが目に入り、児童が俳句を作成する手掛かりとなる。
➤ 遠隔合同授業により、多様な考えに触れることができる。

(※文章からなるデータを単語や文節で区切り、それらの出現の頻度や共出現の相関、出現傾向、時系列などを解析することで有用な情報を取り出すテキストデータの分析方法。)

第1・2学年【算数科】「自分のペースで進める個別学習」

活用の場面

一人一人が課題意識をもって、自分のペースで学習に取り組む。

ICT活用のポイント

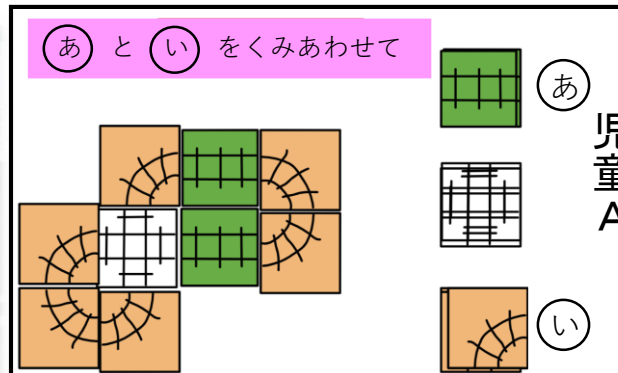
一人一人の学習状況を把握し、個々が段階的に学習を進められるような課題を準備する。

事例の概要

先生は1年生を教えているけれど、私たちはタブレットで「ぐるっと一周する線路」を完成させよう。

私は組み合わせを考えてみるね。

先生と一緒に果物の数を数えて、果物の絵を動かすことができるから、どの果物が多いか分かりやすいな。



児童によって違った「せんろづくり」に取り組めます。

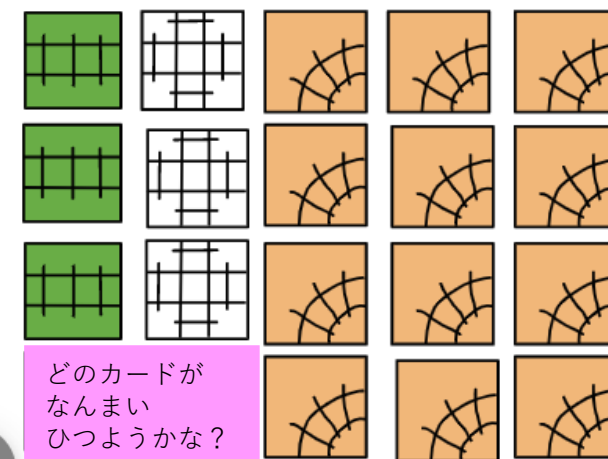
活動とICT活用のメリット

1年生が「かずしらべ」を学習している間に、2年生はタブレットを活用して「せんろづくり」を学習する。

- 児童一人一人の興味や能力に合った課題を自分で選択することで、それぞれのペースで学習を進めることができる。
- 教師は、ゆとりをもって、順番に直接指導をすることができます。



児童B



スライド1枚ごとに違った課題設定されているので、自分で選んで活動することができます。

第3学年【社会科】「遠隔合同授業（故郷のよさを再確認）」

活用の場面

プレゼンテーションを活用し、相手に分かりやすく自分の故郷のよさを伝える。

ICT活用のポイント

聞き手に伝わりやすいプレゼンテーションを作成する。

事例の概要

神社の歴史を交流校のみんなに分かってもらうには、どんな表現をすればいいかな。

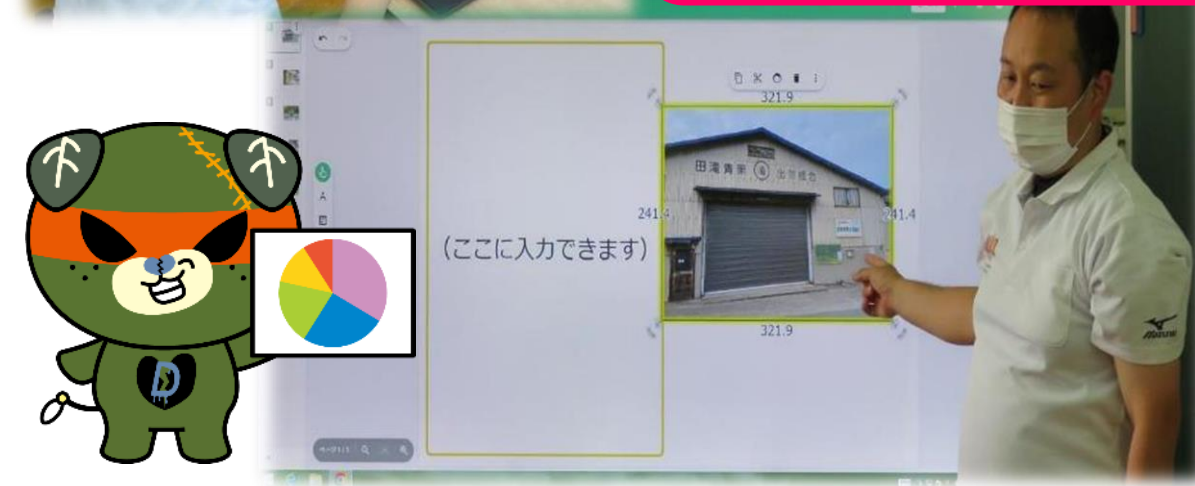
交流校の友達とテレビ会議でも交流をしました。効果的な表現方法を子供と一緒に考えながら、ICTを活用して交流を深めます。

写真を使うなど、必要な情報を整理してプレゼンテーションにまとめると、分かりやすい資料になります。

活動とICT活用のメリット

地域探検をして、発見したことや分かったことなどをプレゼンテーションにまとめ、遠隔合同授業で交流校の友達に発表する。

- ICTを活用して、交流校に故郷を紹介することで、多くの人に発表を聞いてもらい、故郷のよさを伝えることができる。



第3～6学年【理科】「写真や動画を撮って生物を観察」

活用の場面

生物の特徴を知るために、生物の様子を写真や動画で撮って観察記録にまとめる。

ICT活用のポイント

何をどのように撮影すればよいか、記録に必要なポイントを伝える。

事例の概要

6年生が、撮り方を教えてくれたよ。

必要な情報を得られるように、先生や上級生から撮影するポイントを教えてもらったよ。

後で観察記録にまとめるから、メダカの様子を動画で撮影しておこう。

卵を発見したよ。写真を撮って、記録しておこう。

活動とICT活用のメリット

- メダカや昆虫の観察時、写真や動画を撮影し、観察記録にまとめる。
- 写真や動画で撮影することにより、後で繰り返し確認することができる。特に動画は、生物の動きを見ることができ、より分かりやすい。
 - 上学年が下学年に撮影対象や撮影方法について教えることができ、活動をスムーズに行うことができる。

全校【音楽科】「録画機能を活用して演奏技能をレベルアップ！」

活用の場面

音の重なりを味わいながら合奏を楽しみ、演奏技能を高める。

ICT活用のポイント

動画において確認するポイントを明確にし、自分たちのよい点や課題を確認することで、演奏技能の向上につなげる。

事例の概要

音楽フェスティバル

表情や姿勢はどうか。
指揮を見ることができているかな。
全体の様子を先生と一緒に確認して、もっといい演奏を目指して練習につなげるよ。
以前より、よくなったところを確認できるよ。

音楽の授業以外に自分たちで練習をしたい時は、先生の動画に合わせて練習したよ。何度も練習して自信が付いたよ。



活動とICT活用のメリット

鍵盤ハーモニカの練習時に、個人演奏や全体演奏を録画して、よい点や課題を確認した。

- Google Classroomに動画をアップし、互いの演奏を見たり聴いたりすることで、よいところを学び合い、演奏技能のレベルアップにつながった。
- 動画による記録が残り、自分の成長を確認することができた。



第5・6学年【家庭科】「技能の習得」

家庭科の学習過程

生活の課題
発見

解決方法の
検討と計画

課題解決に向
けた実践活動

実践活動の
評価・改善

家庭・地域
での実践

活用の場面

被服製作に係る基礎的な技能を確実に身に付ける。

ICT活用のポイント

個々の技能の習得状況に応じて、デジタル教科書や動画の必要な場面を繰り返し再生して確認できるようにし、確実な習得につなげる。

事例の概要

縫い方にもいろいろな種類があるんだね。
どの縫い方をすると丈夫にできるかな。

活動とICT活用のメリット

- 基礎的な縫い方の運針について、個別の進度に応じてデジタル教科書や動画を見ながら練習する。
 - 一人一人の理解やつまずきの状況に応じて学習を進めることができる。
 - 異なる作品（学年ごと）を製作する場合、それぞれに必要な縫い方を調べたり、練習したりすることができる。
- 縫う練習の様子動画撮影や、練習後の縫い目の写真撮影等、記録として保存する。
 - 学習活動の評価・改善、作品に適した縫い方の選択などの課題解決につながる。

まとめ

各教科でICT活用を行うと…



- 視覚化されるため分かりやすく、子供が一人で学習する時に効果的であった。
- 成果物を学級で共有することによって学習内容について理解が深まった。
- 蓄積されたデータを、振り返りや発展学習に活かすことができた。

【成果】



【課題】

- 児童に、動画や写真の撮影の仕方や機器の操作方法などを指導する時間が必要である。
- データが蓄積され続けるため、定期的に整理する必要がある。

効果的にICTを活用することで、時間的な余裕も生まれます。

目の前にいる子供たちの実態に合ったICTの活用を考えていきましょう。